



▲宇波交流センターの加藤さん（右）と細田さん。同センター（☎ 36-0852）では鋳物に関する情報を集めています。

鋳物の里の地域づくり

宇波交流センター（広瀬町宇波）

昨年（平成28年）から2年間に、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

歴史を紐解くことが連帯に

宇波の鋳物に注目し、情報や資料収集に取り組んでいる同センター職員（集落支援員）の加藤喬さんは、「今やらないとますます分からなくなる」と危機感を募らせます。「今ならかるうじて80歳以上の人が鋳物について見聞きたことがありません」。

昨年（平成28年）から2年間に、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼

ぶることがあります。今年（平成30年）も、やすぎ刃物まつりで鋳物資料を展示。その時、「安来にこんな産業があったの？」という声を多く聞き、現在は地域の人に呼



▲宇波の鋳物は寺社の銅鐘や清水寺三重塔の九輪、美保神社の手水鉢、広田亀治翁の銅像など多岐にわたっています。

び掛けて交流センターに常設展示することを計画中です。しかし、大きな壁となつているのが戦時中の金属供出。地元を含めて実物が残っていないのが実情です。そんな中、住民からは徐々に情報が集まり始め、今では「昔はこうだった」など、住民の共通の話題にもなつていと言います。「高齢化が進み、今後は地区内で助け合つていかなければなりません。鋳物の歴史を掘り起こすことで地域に愛着が生まれ、連帯がとれることを期待しています」と加藤さん。「鋳物の収集や歴史の研究が目的ではなく、その過程が大事だと思っています」。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

かつて夜空が赤く見えたという伝説がある宇波の鋳物。鉄のまちゆかりの歴史がまた一つ紐解かれそうです。

編集後記

▼安来市のYouTube動画チャンネルをのぞくと安来をPRするさまざまな動画を見ることが出来ます。先日、新たに動画が1つ追加されました。この動画はドローンで撮影した迫力ある映像がふんだんに使用されています。これを見ると、撮影の立ち会いで、荷物を持ちながら月山を登った時のことを思い出します（旬）▼かつて宇波小学校では授業の一環で鋳物づくりをしていたと聞きました。オリジナルデザインの手づくり文鎮が各家庭にはあるとのこと。数百年分の地域の歴史が詰まったモノが机の上にある。子どもにとっては宝物だったでしょうね。ちなみに私はペーパーウエイトとしてカナルン（鉄滓）が机上に（の）

安来市の人口と世帯数 H30.7.31現在

人口合計 / 39,063人
(男:18,736人 女:20,327人)
世帯数 / 14,303世帯

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、地域振興課（☎23-3067）までご連絡ください。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用